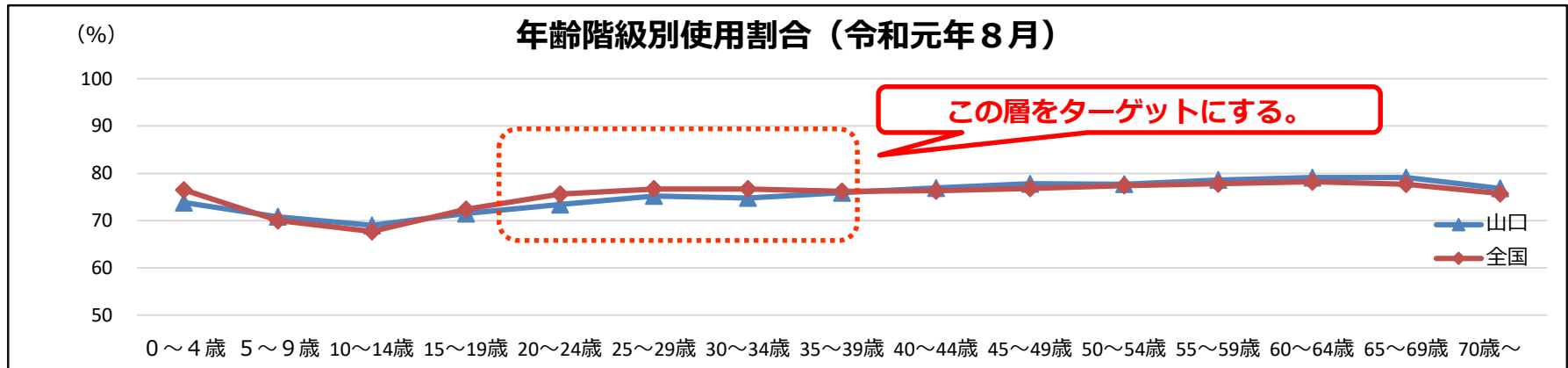


ジェネリック医薬品の使用促進に係る保険者機能強化予算の計画変更について（案）

「本年9月までにジェネリック医薬品の使用割合80%を達成する」という国の目標の達成に向けて、令和元年度の保険者機能強化予算の計画を一部変更する。

① 健康保険制度の維持を主眼に置いたリーフレットの配布

被保険者数が20名以上の事業所（約2,500事業所）に、日本ジェネリック製薬協会作成の「日本がもし1,000人の村だったら？」を1部ずつ送付し、回覧・掲示を依頼する。また、被保険者への配布を行っていただける事業所には、山口支部からリーフレットを追加で送付する。当該リーフレットは、**健康保険制度を維持させるためにジェネリック医薬品の使用を促す**内容となっており、主に、全国平均と比較して使用割合の低い20～39歳の被保険者への訴求が期待できる。



② 健康保険委員・健康宣言事業所にポスターの掲示依頼

健康保険委員の委嘱事業所・健康宣言事業所において、被保険者の目に届く場所にポスターを掲示いただくことにより、さらなる啓発を図る

③ YABリレーマラソンにおいてチラシを配布

3月15日（日）に行われるYABリレーマラソンの参加者（約4,000名）に使用啓発チラシを配布する。比較的若い世代が参加する同大会においてチラシを配布することにより、使用割合の低い40歳未満への啓発の一助とする。